

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12
12	14	15	16	17	18	19
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	
心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 11月5日・19日 黒木町ふじの里 11月5日・19日 上陽町地域福祉センター 11月12日・26日 立花町かがやき 11月12日・26日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 11月14日 黒木町ふじの里 11月21日 上陽町地域福祉センター 11月28日	司法書士相談 黒木町ふじの里 11月14日 八女市社会福祉協議会 11月21日 筑後市 心配事相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	くるぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ ○赤ちゃん読聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~	1 閏9月9日 大安 筑後市所蔵絵画展 (九州芸文館~3日)				
2 閏10日 赤口 健康と福祉の祭典 (サザンクス筑後)	3 閏11日 先勝 文化の日 秋色マルシェ恋びより (水田天満宮・恋木神社)	4 閏12日 友引	5 閏13日 先負 松尾弁財天縁日 (立花町)	6 閏14日 仏滅 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	7 閏15日 大安 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	8 閏16日 赤口 福岡大学有信会 八女筑後支部総会 (18:30~・いわ井) 大東寺絵手紙教室展示会 (8~9日・大東寺)	
9 閏17日 先勝 八女軽トラ市 9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場)	10 閏18日 友引	11 閏19日 先負 無料弁護士法律相談 13:30~・要予約 (八女民主商工会) ☎ 24-2727	12 閏20日 仏滅 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設)	13 閏21日 大安 市民文化祭(サンコア~16日)	14 閏22日 赤口	15 閏23日 先勝	
16 閏24日 友引	17 閏25日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	18 閏26日 仏滅	19 閏27日 大安	20 閏28日 赤口 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	21 閏29日 先勝 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎ 22-5161	22 10月1日 仏滅 人生史サークル黄檗の会 講演 執行昭男先生 (元明善高校校長) 1:30~(八女市社会福祉会館) 秋の大収穫祭 ~23日 (道の駅たちばな) 緋の里巡り in 筑後 (市北西部~23日)	
23 2日大安 勤労感謝の日 八女軽トラ市 9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 清水山もみじウォーク (八女歩こう会)	24 3日 赤口 振替休日	25 4日 先勝	26 5日 友引 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	27 6日 先負 社会保険個別相談会 10:00~16:00(筑後商工会議所) 要予約 0942-33-6215	28 7日 仏滅	29 8日 大安 三二健康教室 手外科であつかう疾患について (14:00~・川崎病院) 長崎県上五島町物産展 ~30日 (道の駅たちばな)	
30 9日 赤口 藤岡弘、講演会 (2時~・八女市総合体育館) ちっごふれあいフォーラム (サンコア)							

”山かひの秋のふかきに驚きぬ田をすでに刈りて乏しき川音”(中村憲吉) 山本健吉編の『句歌歳時記』より。霜月11月、晩秋村里風景。この八女の地にゆかりも深い文芸評論家山本健吉資料室がようやく去る10月13日、八女市制施行60周年、合併5周年を記念し開室、三田村市長、縁故関係者の労による。▼この開室に併せて生前健吉先生よりご愛顧を賜ったという歌手さだまさしのアコースティック・ライブの催し。”おりなす八女・ハーモニーホール”チケット七千円の高額にもかかわらず満席大盛況。市民の心意気にも感服。

また、さださんの歌、演じ方も十分に魅了される。若さを嗔わず、老いを恨まず、いつか来た道、いつか行く道、心に咲く花は季節を惜しまない、与えられたいのち、悲しきもよろし……(残春)。彼の熱唱は現代『和讃』とも心底にひびく歌詞。健吉先生御推挙のゆえんが了解される。

▼健吉先生数多のエッセイのなかで胸にとまっているのは「一期一会」の情感を利休の茶を基に説かれた一節。もてなす主人と客人に共に敬愛の念なしでは、真の茶会は成立せず……”茶の国”とも称するふるさと八女。夫人で俳人としても高名の石橋秀野さんともども健吉先生の御文章に親しまれんことを期待。

天宮ふんぷり 120
 秋のふかきに
 文を読む
 詩人 椎窓 猛

健康万歳 ⑩

ウイルス感染の脅威に備えよう(21世紀は感染症との闘い)

西アフリカで発生し猛威を振るうエボラ出血熱はエボラウイルスにより感染する。その経路、規模ともにはつきり把握できず長期化、広域化の懸念を示し、既に多数の死者を出した。

頭痛や咽頭痛、筋肉痛など重症なインフルエンザ様の症状に始まり出血に至り重篤化すれば死亡率は90%と言うから恐ろしい病気である。

園で発症し、感染が広がった。高熱や頭痛、関節・筋肉痛などの症状に引続き発疹が現れ、たまには重篤化することもある。

ヒトスジシマカなど蚊の媒介により Dengueウイルス感染により発症する。朝夕特に蚊が出るような場所に行くのは避けたい。

冬場に入るとインフルエンザが流行してくる。今は予防ワクチンが一定の効果をおよぼしているが、新型のことは少ないが、新型の流行に対しては対応が難しくなる。老人や幼少児の生活弱者では肺炎などの合併症を起こし死に至る場合も少なくない。

うがい、マスク、手洗いやなど周到に行っておけば一応の感染は防げる。冬場はノロウイルスによる食中毒がある。生の貝(牡蠣など)を食べて感

染するが、丁寧な手洗いなど予防対策で充分に防げる。

感染症は何らかの原因で微生物が体内に侵入し増殖した状態で症状が起こり、血液、尿便、痰、唾液などを介して細菌、ウイルスなど第三者に侵入し感染を上げていく病である。

まだまだウイルスによる感染症は多いが、21世紀は「感染症との闘いの世紀」とも言われている。「うつらない、うつさない」一人ひとりの自覚が肝腎である。

林 榮一 (医師・八女市立花町)



楽しい絵手紙



八女市本町 井上 一子

今年知人に紹介して頂き、絵手紙教室に入会しました。今はパソコン、携帯にメールの生活ですが、これからは一枚のハガキを通して、四季の素晴らしさや、自然の豊かなめぐみそして自分が感動し癒される様な絵を描くことで、相手の心を和ませ、会話が出来たら幸せだなと思います。それには努力と上達しかありません。たのしい大坪先生、厳しく御指導下さい。先輩の皆さんに出会い、貴重な時を持たせて事に感謝し、楽しく学んでいきたいです。

大東寺絵手紙教室の展示会を十一月八日(土) 九日(日) にします。どうぞ遊びにおいで下さい。お待ちしております。

演題 生徒たちの歌、歌
講師 執行 昭男先生 (元明善高校校長)
日時 11月22日(土) 13:30~
場所 八女市社会福祉会館

秋の野花在きれな俵山(1095m)

日本百名山の筆者、深田久弥の言葉に「百の頂きに百の花あり」と書いている。

今回の俵山は阿蘇外輪山のなかでも人気が高く、登山者やハイカーの数も多い。私達いつもの中高年グループに混ざって山ガールのゆかりお嬢さんと吉田隊長の孫で、みのりちゃん(5才)が初参加となった。

登山口から1時間程歩くと、左手に雄大な阿蘇五岳が見え登山者の目を楽しませてくれる。

それにしても山デビューの「みのりちゃん」の元気なこと。先になり先頭に立つと「みんなー、はやくー」だって。

やっと後半の行程となったところで、最後の胸突き八丁の急登を登りきると「ヤッター山頂だ!」

この山頂は四季折々、ほかの山では見られない草花も多くマツムシソウの群落に、まさに「俵山の頂に百の花あり」だった。

下山は、みのりちゃんの笑い声が絶えず聞こえ、初めて孫と登った吉田爺の満足そうな笑顔が印象的だった。

八女文化連盟写真部 樋口 清人



筑後市立筑後中学校一年 木下歩夢さんの模写画 坂本繁二郎先生の『母仔馬』

11月3日に坂本繁二郎先生の画業を讃える「帰居祭」が催される。そのポスターのために先生の昭和35年、78歳の油彩の『母仔馬』を模写させた。夏休み前から製作にかかった。歩夢さんは久しぶりの画材のパスによる模写に熱中した。



歩夢さんは小5ごろまで無口で、それまでの絵はやや消極的で、もの足りない作品だった。それが、突然のように積極的な作品に変化し、指導する当方に質問する内容にも変化が見受けられるようになった。読書に興味が出始めたのである。読書を通じて自分のまわりの社会に対するモノの見方が変化したからと思う。それが絵に現われた。

坂本先生の複雑な絵の構成と色彩をしっかりと見ぬいた優れた模写である。

原画の母馬は、坂本先生のお母さん、仔馬は自分を描いたといわれている。

(杉山絵の教室 杉山 亞士)



眩き

小さな旅

忘れられない旅がある。それは行って帰って二十四時間の小さな旅。

十五年前の霜月。三人の娘から私達に結婚三十五年を祝う旅のプレゼントがあった。

長女家族、次女夫婦、三女と夫と私。九名が二台の車で目指した先は、海を見下ろす高台の国民宿舎。海に沈む夕日を見て孫がカウントダウンを始めると、つられて全員窓辺に集まった。その中心には難病の夫がいた。

自由に歩ける今を大切に、主治医から言われた日、長女に珊瑚婚を祝いたいと伝えた。娘達はあつと言う間に旅を計画し、夫の体に負担の無いようにと車で一時間以内の宿を予約してくれた。二人の婿に支えられて風呂に入れたことが余程嬉しかったのか、夫は目を潤ませ婿に「ありがとう」と何度も言った。和室に敷かれた八組の布団。孫は喜々として枕投げに興じひとしきりはしゃいだ後、静かになった部屋は、歯ぎしり寝言の三重奏に包まれた。八人が肩寄せ合って眠る姿は正に幸せを絵にしたような光景だった。眠るのが勿体ないと思えるこんな夜に私は後何度巡り会うことが出来るのだろう。

その日から一か月半後、夫は自宅で静かに旅立った。子供たちからのプレゼントだと思ったあの小さな旅は、夫が私に残した最後の粋な贈り物だったのかも知れない。(夏生)



街かど gallery



八女市高塚
末廣 久枝

水墨画教室に参加させていただいて、はや、数年になります。墨一色で、濃淡や、にじみ等を、和紙の上に表現するのは、とてもむずかしくて、毎回、四苦八苦して居ります。でも先生を始め、教室の皆さんと、和気あいあいで、とても楽しい時間です。人はある程度の年齢になると、若いときが次々と表われて来て、「今日より若い日はこないのだから、何んのこれしき」なんて思っただけでも、ちよつとあわててい

ます。今まで色々運動は続けていたのに休は年相応に弱るんです。何をすることも体力なしでは何にも出来ない。これからは、無理をせず、この至福の時を出来るだけ多く重ね続けていきたいらいます。思っただけでも、ちよつとあわててい

神様はどこ？

私は幼い頃、家の中にはいろんな神様が住んでいるということを祖母から教えてもらいました。

ドアのレールにいる神様。畳のへりにいる神様。玄関にいる神様。台所、トイレ、お風呂場などの水回りにはいる神様。

「ドアのレールには神様がおるけんね。踏むと神様がケガしなはるけん、踏まないようにして行かやんよ。」「畳のここ（へりを指さして）にも神様が住んどんなはるけんね。踏まないように気をつけて行かやんよ。」と言われ、幼い私は「神様が住んでいるんだ…」と信じ、祖母の教えを守って過ごしてきました。

私もお母さんになってから、祖母から教えてもらったことを4歳の娘にも同じように伝えました。すると娘は、ドアの前に座り、レール部分をジーッと見ながら、「ママ、神様はどこ？どこにおると？」と不思議がっていましたが、それからはレールを踏まないようになりました。畳のへりも同じようにジーッと見ていましたが、踏まずに歩くようになりました。

子どもは、一番身近にいる親を見て、いろんなことを覚えていくものですが、礼儀や作法のように単に口で言うだけでは伝わりにくいことを、昔の人は「神様が住んでいる」という表現で教えてきたんだなあと思感しました。

「泣いた笑った喜んだみんなの子育て奮闘記」より抜粋。この本のご購入、お問い合わせは幸輪保育園（筑後市 ☎0942-53-0175）迄

Facebook でコミュニティを楽しもう (8)

ここしばらく、70代以上のシニア世代 Facebook（以下FB）ユーザが増えてきていることを感じています。

自分の父親のことを話しますが、普段コンピューターなど触りもしない上、いわゆるガラケーと呼ばれる昔ながらの携帯電話の扱いにも窮する人で、メールすらろくに返事できない、そんな人もいます。そういう場合FBは少し敷居が高いと思われるかもしれません。

FBは写真や文字をはじめとして、さまざまな表現が可能なのですが、シニア世代の方はそのような機能を能動的に使っていることは多くない印象です。

どちらかと言えば自動的に流れてくる知り合いの動向を見る、とか離れて暮らしている子供や孫の写真を見る、なんて使い方

が多いのかもしれませんが、それだけでは少しもったいない。

FBに写真を載せるのが大好きなシニア世代の方がいらっしゃるのですが、その方については「文字を打つのは面倒」なので一切書かないのだそうです。その方にとってはそれがFB上の表現で何の問題もありません。

逆に、文字を何とかタイプ出来るようになれば、和歌や俳句、詩歌など、文字で表現できる趣味をお持ちの方にとってFBはリアルタイムで友達の評価や賞賛が得られる二つとない場所になるでしょう。

FBの使い方はそれぞれ千差万別です。自分なりの表現を使って友達との関係を深められる道具として使ってみてはいかがでしょうか。

松尾 隆志(松尾写真館・黒木町)

今日八日は、国民的歌手として皆から親しまれた島倉千代子さんの祥月命日である。「この世の花」や「からたち日記」「人生いろいろ」等、可憐で哀愁を帯びた演歌で綴った島倉千代子節は、私達の心の庭に咲いている。

八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

こんにちは。八女警察署です。④



皆さん、こんにちは。八女警察署生活安全課長の西田と申します。今回は、訪問販売の中でもトラブルの多い点検商法についてお話しします。点検商法は、業者の強引な勧誘、長時間にわたる勧誘、夜間訪問などが問題になっています。業者は、まず家庭を訪問し、「屋根、床下、水道、配水管等を無料で点検します」などと言って点検を行います。そして点検後に「そのまま放っておいたら危険です」などと不安にさせるようなことを言って工事契約や商品購入を迫ります。

実際に八女警察署にも屋根や浄水器の無料点検をしてもらった後に高額の工事契約や商品購入を迫られたという相談も寄せられています。

業者に勧誘されても、自分が不審に思う訪問販売は、すぐに契約したり、代金を支払ったりせず、はっきりと断り、被害に遭わないためにも「一人で判断しない」、「相手の話を鵜呑みにしない」、「家族や警察に相談する」ようにして大切な財産を守りましょう。

楽しい仲間たち 水洗少年サッカークラブ

私たち水洗少年サッカークラブは、月・水・金曜日の午後5時から7時まで水洗小学校のグラウンドで練習しています。現在部員は3つの小学校から集まった、6年生から2年生までの総勢20名で活動しています。子供達は、学年を超えて皆仲が良く元気いっぱい、サッカーのことが大好きです。このチームは、1977年創部で、親子二代での部員も多いです。3人の指導者もチームのOBで、忙しい仕事の合間に練習に参加してもらったり、休日返上で試合の引率をしていただいています。今年度に入って目立った戦績はありませんが、一生懸命練習して、チームメイトを信じて周りに感謝する心を忘れないようにすると結果はついてくると思います。少しでもサッカーに興味がある方、放課後グラウンドに来てください。いつでも体験できます。一緒に練習しましょう。よろしくお祈りします。 監督 古川 鉄也



矢部川源流・杉の里の四季 ⑳

キツネノマゴ(狐の孫)[キツネノマゴ科]

キツネノマゴは春に芽を出し夏から秋にかけて花を咲かせて冬に枯れる一年生草本。白い花をつけるものをシロバナキツネノマゴという。矢部村では平地の道端、田畑、野原で普通に見かける。

名の由来は、花穂の形を孫狐のしっぽに見立てたものとか、花が孫狐の顔に似ているからなど諸説がある。乾燥させ煎じて飲むと鎮静、鎮痛、解熱、鎮咳などの薬効があるとされている。

(黒木町) 松尾 重根



知って得する郷土の食文化 ④

収穫の秋を迎え、五穀豊穡を感謝して、田舎では秋祭りが行われています。さて、私達が毎日食べているお米はいつ頃からあるのでしょうか？

秋の炊きおこわ(4人分)

もち米2カップ うるち米1/2カップ ごぼう100g 人参60g 鶏肉60g しいたけ3枚 栗12ヶ(半分に切る) 枝豆適量(上に散らす分)

- 作り方 ①もち米とうるち米は一緒に洗う
②鶏肉、ごぼう、しいたけ、人参は一緒に味をつける(酒 大2・塩 小1/2強・醤油 大1・みりん 大1)
③具の煮汁を別に取り、汁の中に水を加え2.5カップにして、同量の水加減にして、具を上のにせ、むいた生の栗を上のにせて炊く
④枝豆は別にゆでて、サヤから豆を出し炊き上がったご飯にのせる

三色だんご

- ①だんご粉250gを3等分にする
②かぼちゃは皮を取って蒸し、冷ます
冷めたら粉の中に入れ耳たぶくらいのかたさにこね丸める
③よもぎは水500に小1の炭酸ソーダを入れ、やわらかくゆで水にとり、すりばちですりつぶし、粉と一緒に水を加えながら耳たぶくらいのかたさにして丸める
④何も入れない粉はぬるま湯で耳たぶくらいにこね、全部ゆでる
きな粉に砂糖、塩を少量入れてまぜ温かいうちにかけていただく

吸い物

1人分120ccのだし汁に塩、薄口醤油で味を調える
豆腐、ゆでたほうれん草、皮をむいたトマトにだし汁をそそぎ、ゆずの皮をのせる
郷土料理研究家 樋口 愛子(八女市)



お食事処 母家(おもや)

黒木町笠原199-2(黒木町商工会跡)
☎090-8769-2960
営業17:00~24:00 OS 23:00

オーナーの宮園邦雄(36)さんが修業を積んで故郷黒木町に7月にオープンしたお店です。屋号は奥さんの実家が天草牛深で居酒屋母家を経営しているのでその名前を拝借しました。本家天草に負けないようにと新鮮な魚貝類を毎朝厳選して仕入れています。これから魚の美味しい季節を迎えます。ぜひ当店の魚料理を賞味して下さい。焼き鳥も一度はためしてほしいですねと自信满满でした。メニューは豊富かつリーズナブル。今は地元の皆さんに愛され、二度三度と足を運んでもらえるお店にしようとお客様の期待を裏切らないようなおもてなしを心がけています。店内は30名は入れて落ち着いた過ごせる雰囲気です。予算に応じて各種宴会に対応します。忘年会の予約承り中。



サービスクーポン
この券持参の方に
5名様以上で当店ご利用の
お客様カラオケルーム
1時間無料
11月15日迄有効 母家(おもや)

11月の道の駅たちばな
大収穫祭
秋の味覚満載
大収穫祭
11月22日(土)→23日(日)
年朝9時30分より午後4時まで

道の駅たちばなにて開催
長崎県上五島町物産展
11月29日(土)→30日(日)
特産品等の試食販売
開催時間:AM9:30~PM3:30

あかりとちゃっぽんぽん「地場産まつり」に参加して

福岡県立八女農業高等学校

今年もシステム園芸科の2年生が、学校で生産した農産物を販売しました。

持ち込んだ生産物は、生産技術科のペットボトル茶の「八農高茶」(学校茶葉使用)、システム園芸科の、花鉢、観葉植物、野菜の苗、生物利用科の、本校の茶葉を使って作った「お茶クッキー」、各種ジャム、豚味噌など、学校の人気商品を取りそろえて販売しました。また、隣のテントでは、本校PTAの皆さんに餅つきの実演をしていただき、大変盛り上がったイベントとなりました。

参加した生徒たちは大きな声を出し、笑顔で接客に励んでくれました。

これらの販売品は定期的に「八女農みらい館」で販売しています。多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております。

八女農みらい館 11月販売日

4日、7日、14日、18日、21日、25日、28日 10時30分~15時30分



八女よかところ直売所

八女市立野 旧矢部線通り沿い(みどりの杜病院前)

☎0943-24-3387

日曜日はお休み

玄関に入ると花、食卓に花、洗面所の窓に花、さりげなく置かれた花に心癒されちょっとだけリッチな気分になります。そんな夢を実現させてくれるお店です。ゆり栽培30年のキャリアを持つ牛島国弘さんはお店の裏のハウス(1400坪)で年間15万球のカサブランカを生産販売しています。ゆりはちょっと高嶺の花というイメージもありますが、もっと手軽にゆりをご家庭に飾って楽しんでもらいたいと、5年前にオープンしました。沢子奥さんと、店長的美紀さん二人がお店を切り盛りしています。球根はオランダ、チリ、ニュージーランドから輸入しています。花期は7月中旬から9月末の盛夏期以外は一年中楽しめます。お祝いやお見舞い、仏事用の花束、アレンジメントも作ります。これからは年末年始の贈答用で忙しくなります。「できればこのお店でフラワーアレンジメント教室を開けるようになりたい」と店長美紀さんが笑顔いっぱい話されました。店内にはお米やお茶、しいたけ、旬の野菜や果物、手づくり雑貨も並び牛島さん母子と花に囲まれて話すだけでも楽しいお店でした。



花に囲まれた店内で牛島さん母子

お店からのプレゼント

「オリエンタルリリー2本組」を10名の方へ。ご希望の方はハガキに住所、氏名、電話番号を明記の上(株)東兄弟迄、11月10日締め切り、応募多数の時は抽選、当選された方は直接お店で受け取っていただきます。

老活に育爺という選択肢
選厩川柳(宝島社)
筑後市 増村 たえ
ふだんは若虫をかみつぶした様な仏頂面の夫が、孫達の来訪時だけは全く別人に変身する。もうこれ以上は不可能と思われ限界まで目尻を下げた好々爺になりソワソワと世話をやくのである。彼等が帰れば元の木阿弥の洗面に戻るが、我々老夫婦に活力と精気をくれる貴重な存在である。秋風や心のスイッチOnにする